

令和5年第15回教育委員会定例会会議録

- 1 開会宣言 令和5年12月21日(木)午後1時30分
- 2 場 所 三条市役所栄庁舎 201会議室
- 3 出席者 高橋教育長、佐藤委員、松井委員、梅田委員
- 4 欠席者 小林委員
- 5 説明のための出席者
平岡教育部長、野水教育総務課長、
小林子育て支援課長、熊倉学校教育課長、森田教育センター長、
佐藤教育総務課課長補佐、井上教育総務課庶務係長
- 6 傍聴人 0人
- 7 議 題
 - (1) 会議録の承認
令和5年第14回教育委員会定例会会議録
 - (2) 報告
報第1号 令和5年(2023年)三条市議会第6回(12月)定例会の概要について
報第2号 小中一貫教育実施状況について
 - (3) 議事
議第1号 三条市中学生の地域クラブ活動推進委員会設置要綱の制定について【当日配布】
 - (4) その他
次回教育委員会定例会の日程について
- 8 審議の経過及び結果
 - (1) 会議録の承認について
高橋教育長から令和5年第14回教育委員会定例会会議録について諮り、承認と決定

 - (2) 報告
報第1号 令和5年(2023年)三条市議会第6回(12月)定例会の概要について
平岡教育部長が説明
質疑に入るが質疑なく、質疑終結

報第2号 小中一貫教育実施状況について

森田教育センター長が説明

(松井委員)

12月15日(金)開催された、第39回三条市小中一貫教育推進委員会を傍聴しました。

各学園ごとのプレゼンで、各学園ごとに特色がある発表でした。最後の発表がただの郷学園の報告で、教頭から次のとおり報告がありました。

ただの郷学園の課題として、広大な学区、5つの小学校、部活の設置の数の3点が挙げられていました。先生方は、一生懸命で70人の先生で35もの公開授業をやっているとのこと、毎月、3つ4つやっているのかと拝聴していました。現場にいる先生は大変で、これだと下田に来る先生がいなくなるのではないかという危機感を感じました。

地域の方で、森町小学区の方から、「スクールバスで通っているが、複式学級ができるようだ、バスで通っているなら、このまま(新たに統合してできるといい学校)に行かないろっかね」という声が地域のおばあちゃん達から聞こえてくる。行政の力で、先生も生徒も保護者も安心して通えるただの郷学園にして欲しいと思いました。

(平岡教育部長)

委員御指摘の点はその通りだと認識しています。加えて、その根底には、急激に子供達そのものが減少してきているということがあって、なかなか本来、学校運営のために仕組みがあるべきなのに、仕組みに合わせるのが精一杯な体制となってきた、本末転倒な状況が生まれていると感じておられるのではないかと聞いておりました。

そうした面も踏まえて、どういった学校の体制であつたらいいのか、もっと踏み込んで言えば、例えば生徒数を踏まえて学校の形作り、在り方を教育委員会としてもしっかりと考えていく必要があるなど受け止めております。

(3) 議事

議第1号 三条市中学生の地域クラブ活動推進委員会設置要綱の制定について【当日配布】

森田教育センター長が説明

質疑に入るが質疑なく、全員異議なく原案のとおり決定

(4) その他

次回教育委員会定例会の日程について

野水教育総務課長から提案があり、教育長が諮り次のとおり決定

〔日時〕 令和6年1月23日（火）午後1時30分

9 閉会宣言 午後1時45分

三条市教育委員会会議規則第38条及び第39条の規定により、会議の顛末を記載してここに署名する。

三条市教育委員会

教育長 高橋 誠一郎